

平成 24 年 度

〔平成 24 年 4 月 1 日から
平成 25 年 3 月 31 日まで〕

第 57 期

事 業 計 画

収 支 予 算

公益財団法人 メトロ文化財団

平成24年度（第57期）事業計画

〔平成24年4月 1日から
平成25年3月 31日まで〕

当財団は、地下鉄博物館の運営を通じて地下鉄に関する知識の普及を図るほか、交通文化事業及び交通マナー事業を推進し、交通文化の発展に寄与するよう努めております。

平成24年度（第57期）は、以下のとおり各事業の一層の拡充を図ってまいります。

1 博物館事業

地下鉄に関する資料等の展示、解説及び案内を通じて、お客様、特に小・中学生など若い世代の方々に、地下鉄に関する知識の普及と理解を深めていただくため、以下の事業を行います。

(1) 博物館の企画行事

本年度における特別展、イベント等を以下のとおり計画しております。

ア 特別展の開催

(ア) 「千代田線車両の技術変遷展」～ローレル賞の受賞を記念して～（仮称）

平成24年6月～8月に開催予定

千代田線は、首都圏の交通機関の混雑緩和を図ることを目的に建設され、昭和53年3月に綾瀬～代々木上原間が全線開通しました。

千代田線に導入した6000系車両は、回生ブレーキ付きのサイリスタ・チョップ制御装置を搭載し、かつ、アルミニウム車体を使用した経済性重視の画期的なものであり、国内はもとより海外からも高い評価を受け、その車両デザイン性も高いことから、昭和47年に鉄道友の会が選定するローレル賞の荣誉に輝きました。

その39年後の昨年、6000系車両の後継車として登場した16000系新型車両は、永久磁石同期型モータによる駆動システムを採用し、環境に配慮した省エネルギーの推進に貢献したことが評価され、千代田線車両として再びローレル賞に輝きました。

今回の特別展では、こうした千代田線の新しい車両技術の開発課程やその時代に即した環境対応や省エネルギー技術などを中心に、写真パネルや映像資料

等により紹介いたします。

※ローレル賞とは、鉄道友の会（全国規模の鉄道愛好者団体）が、性能、デザイン、製造企画、運用等の諸点に卓越したものと認められた車両に対して贈るもので、昭和36年に制定されました。

(イ)「地下鉄誕生展」～ロンドンの地下鉄開通から150年～（仮称）

平成24年11月～平成25年1月に開催予定

世界で最初の地下鉄は、今から150年前の1863年1月、イギリスロンドンのメトロポリタン鉄道という民間会社によって誕生しました。約2年半を費やして建設され、当時は電車ではなく、蒸気機関車によって運転されていました。なお、当時の日本は幕末とはいえ江戸時代のことでありました。それから150年が経過し、地下鉄は、今では世界の多くの国々で、都市交通を支える重要な役割を果たしています。

今回の特別展では、都市の近代化や発展に大きく寄与した地下鉄の開通の歴史をひも解き、ロンドンのメトロポリタン鉄道の開通に尽力した方々の功績や、メトロポリタン鉄道の開通から64年後の昭和2年（1927年）12月に数々の苦難を乗り越えて日本初の地下鉄を東京に開通させた早川徳次氏の功績など、現在までの150年間にスポットライトをあて、地下鉄誕生に向けた苦難や功績等を写真パネルや映像資料等により紹介いたします。

(ウ)「東西線開業と沿線地域の発展の軌跡展」（仮称）

平成25年3月～4月に開催予定

東西線は、首都圏の交通機関の混雑緩和を図ることを目的に建設され、昭和44年3月に中野～西船橋間が全線開通しました。

東陽町～西船橋間においては、当時地下鉄で唯一の快速列車を運行し、西船橋以遠の千葉方面と都心部との所要時間を大幅に短縮いたしました。

昭和40年代初めの葛西、浦安、行徳地区は、埋立地そのままに昔の面影を残すのどかな風景でありましたが、その後、現在までに開発が急激に進み、居住人口が増え、東西線利用者も大幅に増加いたしました。

東西線の開通は、江東区及び江戸川区並びに千葉県西部地域の便益の向上と発展に大きく貢献いたしました。

今回の特別展では、特に隅田川以東における沿線地域の発展の軌跡を取り上

げ、写真パネルや映像資料等により紹介いたします。

イ イベントの実施

入館したお子様に楽しんでいただけるよう、各期間において以下のイベントを行います。

(ア) 春休み、ゴールデン・ウィーク行事（各種ゲーム大会、地下鉄建設記録映画、アニメ映画上映など）

(イ) 夏休み行事（お盆休みを中心に各種ゲーム大会、アニメ映画上映など）

(ウ) 鉄道の日行事（HOゲージ模型電車運転会、子供鉄道セミナーなど）

(エ) 冬休み行事（各種ゲーム大会、地下鉄建設記録映画、アニメ映画上映など）

ウ 教育実習活動

博物館実習（学芸員資格取得のための実習）、チャレンジ・ザ・ドリーム（近郊の中学校からの要請による職場体験学習）等の教育実習活動を受け入れます。

(2) 地下鉄関連資料の収集、保存及び貸出し

地下鉄に関する各種資料、写真等を継続的に収集、整理、保存するとともに、資料のデータベース化を進めていきます。

さらに、これまでにデータベース化した貴重な資料が活用される方策としてアーカイブサイトとしてホームページに公開していきます。また、自治体や学校等から要請があった場合には、所蔵資料などの貸出しもいたします。

(3) 展示物の更新及び施設の改良等

現状に合わなくなったパネル等の展示物や開館以来使用し老朽化してきた設備等について更新工事を行います。本年度は、トイレの全面的な改修工事を実施いたします。

(4) 新規商品の開発と販売

入館されたお客様から要望が多い博物館オリジナル商品の開発を積極的に行い、お客様に喜んでいただき来館記念となるよう努めます。

本年度も博物館の管理・運営については、なお一層多くのお客様に来館していただける

よう、ポスターやホームページ、携帯サイトなどの媒体を通じて特別展や各種イベント等を紹介するとともに、テレビ局、新聞社・雑誌社等メディアの取材、インタビューに積極的に対応し、博物館のPR活動を推進いたします。

2 交通文化事業

音楽会、文化展、歴史教室の開催など、以下の事業を実施します。

(1) メトロコンサートの開催

青少年への音楽文化の普及を図る文化活動の一環として、メトロコンサートを博物館ホールにおいて年3回開催いたします。

(2) 「メトロポリス・クラシックス」コンサートの開催

気軽に楽しくクラシック音楽に触れていただくため、「メトロポリス・クラシックス」コンサートを年1回開催いたします。

(3) 音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）の開催

福祉活動に寄与するため、都内及び近郊の福祉施設、病院等において「音楽の贈りものコンサート（出張音楽会）」を年7回開催いたします。

(4) メトロ文化展の開催

絵画、写真及び文学に係る作品を募集して、その中から優秀作品等を選び、以下のとおり「メトロ文化展」を開催いたします。

ア 児童絵画の部（メトロ児童絵画展）

地下鉄に興味を持っていただけるよう、小学生を対象に安全やマナーに関する絵画作品を年1回募集し、特選、入選、佳作、奨励の各賞を計600点選考のうえ、「メトロ文化展 児童絵画の部」として駅構内及び博物館に展示いたします。

イ 写真の部（メトロ写真教室・写真展）

撮影のテクニックの習得をはじめ、都内の名所旧跡、下町風情の残る地域などを撮影する喜びを体験していただくため、参加者を募集し、専門家による写真教室及び撮影会を年2回開催し、撮影作品を「メトロ文化展 写真の部」として駅構内に展示いたします。

ウ 文学の部（メトロ文学館）

電車内で、文化的な雰囲気と潤いを感じていただくため、詩の募集を年2回行い、

優秀作品を選び、車内ポスターに掲出するとともに、「メトロ文化展 文学の部」として駅構内に展示いたします。

(5) 沿線地域文化の紹介

地下鉄沿線の地域文化の振興や伝承支援に寄与するため、沿線地域における伝統工芸・芸能、文化遺産、祭り、各種文化行事等を小冊子やホームページで紹介いたします。

(6) メトロ歴史教室の開催

都内に残る名所旧跡など歴史的文物を知っていただくため、参加者を募集し、専門家による解説と現地を探訪する歴史教室を年2回開催いたします。

(7) Echika 池袋ギャラリーの運営

駅におけるゆとりと潤いのある文化的空間の創造、さらには文化芸術の薫る街を目指す地元地域の発展に寄与するため設置された「Echika 池袋ギャラリー」の管理運営を行います。展示につきましては、地元豊島区と当財団が行います。

3 交通マナー事業

交通マナーの高揚を図るため、以下の事業を行います。

(1) マナーポスターの制作・掲出

交通マナーの高揚を図るため、交通道德宣伝用マナーポスターを制作し、毎月、駅構内及び車内等に掲出いたします。

(2) 「地下鉄のはなし」の制作・配付

小学生（4年生対象）が学ぶ社会科の参考資料として、交通マナー、地下鉄の歴史、役割、安全への取組み等を解説した小冊子「地下鉄のはなし」を45万部制作し、都内全域及び近隣の小学校に配付するとともに、博物館及び各駅に常置いたします。

(3) 鉄道教室の開催

地下鉄の知識を深めていただくため、小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、施設見学及びセミナー等を行う鉄道教室を年1回開催いたします。

(4) 啓蒙用グッズ類の配付

交通道德宣伝用啓蒙グッズを制作し、各種イベント参加者等に配付いたします。

以 上

7 財産目録

平成24年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	2,419,807	
	預金	普通預金	みずほ銀行神田支店	運転資金として	121,478,396
		みずほ銀行稲荷町支店	35,077,271		
		東京都民銀行葛西支店	3,754,987		
		東京都民銀行春日町支店	48,893		
		三菱東京UFJ銀行神田駅前支店	1,046,071		
		みずほ信託銀行本店営業部	2,561,275		
		商工中金本店営業部	399,812		
		商品	江戸川区東葛西6-3-1		博物館売店商品
	未収金	東京地下鉄(株)	平成23年度出向者精算金	2,804,025	
		その他未収金		402,442	
	未収収益	東京交通債券利息他	東京交通債券利息未収分	8,655,329	
東京地下鉄社債利息		東京地下鉄社債利息未収分	11,142,240		
利付国債利息		利付国債利息未収分	3,527,596		
前払費用	(株)トロセルビス	博物館動産総合保険他	2,538,012		
	その他前払費用		426,614		
流動資産合計				211,589,178	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	東京交通債券5口	公益目的保有財産であり、運用利息を公益目的事業費の財源として使用している。	950,000,000
		東京地下鉄(株)社債7口	2,600,000,000		
		利付国債9口	2,600,537,360		
		東京交通債券8口	法人会計の財産であり、運用利息を管理運営費の財産として使用している。	2,700,000,000	
	定期預金	みずほ銀行神田支店	公益目的保有財産であり、運用利息を公益目的事業費の財源として使用している。	8,766,500	
		商工中金		40,006,000	
	特定資産	退職給付引当資産	定期預金 みずほ銀行神田支店	職員に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。	46,000,000
		定期預金 みずほ銀行稲荷町支店	52,000,000		
	博物館建替積立資金	投資有価証券 第340回東京交通債券	博物館建物の建て替え用の資産取得資金である。	204,980,000	
		投資有価証券 東京地下鉄社債2口	公益目的事業の積立 99.4% 1,161,648,040円 収益事業の積立 0.4% 7,011,960円	963,680,000	
	本館建替積立資金	投資有価証券 第7回東京地下鉄社債他	本館建物の建て替え用の資産取得資金である。	105,940,000	
		投資有価証券 第59回利付国債	公益目的事業の積立 58.7% 93,462,140円 収益事業の積立 27.6% 43,944,720円 法人会計の積立 13.7% 21,813,140円	53,280,000	
	減価償却引当資産	投資有価証券 第340回東京交通債券他	減価償却資産の更新用資金である。	256,225,000	
		定期預金		113,982,000	
	投資有価証券	株はとバス株式 1,127,750株	公益目的保有財産であり、配当金を公益目的事業の財源として使用している。	56,387,500	
		博物館建物・設備	3,535㎡	うち公益目的保有財産99.4%	792,349,847
	その他の固定資産	建物設備	江戸川区東葛西6-3-1	うち収益事業に使用0.6%	4,782,796
			1,143.49㎡	1階、3階、5階、6階、7階、8階のうち公益目的保有財産。建物全体の58.7%	59,268,286
		千代田区神田須田町1-5-11	8階建	1階、3階、5階、6階、7階、8階のうち管理部門が使用。建物全体の13.7%	13,832,632
			2階、4階:315.62㎡:収益事業で使用し賃貸している。建物全体の27.6%	27,867,201	
53.21㎡		マンション1室。収益事業の財産であり賃貸している。	2,042,652		
世田谷区弦巻		パブリックアート。公益目的保有財産である。	58,553,272		
東京都渋谷区他					
器具備品		江戸川区東葛西6-3-1	博物館の器具備品であり、公益目的保有財産である。	208,314,632	
		千代田区神田須田町1-5-11	公益事業部の器具備品であり、公益目的保有財産である。	1,048,399	
			1、3、5、6、8階の器具備品であり、公益目的保有財産である。73.5%	4,085,688	
	1、3、5、6、8階の器具備品であり、収益事業に使用する部分である。9.1%	505,847			

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
			1、3、5、6、8階の器具備品であり、管理部門が使用する部分である。17.4%	967,224
	土地	195.37㎡ 千代田区神田須田町1-5-12	公益目的保有財産であり、交通文化事業他の施設の利用に相当する部分である。58.7%	147,576,496
			建物賃貸の施設の利用に相当する部分である。27.6%	69,388,608
			管理部門の施設の利用に相当する部分である。13.7%	34,442,896
	ソフトウェア仮勘定	17.76㎡ 世田谷区弦巻 無形固定資産	マンション1室に対応する持分。建物賃貸の施設である。	4,292,000
			ホームページのリニューアルに係る、アーカイブアルバム作成費用等	9,827,299
	電話加入権	江戸川区東葛西6-3-1	公益目的保有財産である。	11,082
		千代田区神田須田町1-5-11	公益目的保有財産であり、交通文化事業他の利用に相当する部分である。73.5%	25,793
			物品販売、建物賃貸の利用に相当する部分である。9.1%	3,194
			管理部門の利用に相当する部分である。17.4%	6,106
	長期貸付金		学資金として貸し付けたものであり、平成29年度までに返済される予定である。	13,753,000
固定資産合計				12,204,729,310
資産合計				12,416,318,488
(流動負債)				
	買掛金	(株)メトロコマース (株)ディーエムエス その他買掛金	博物館売店商品仕入れ 博物館売店商品仕入れ 博物館売店商品仕入れ	928,588 285,331 1,253,592
	未払金	退職者 髙橋タイフ その他未払金	役員退職慰労金 「安全を守る人々」コーナー、グラフィック更新	5,940,165 4,583,985 12,556,667
	未払費用	(株)地下鉄ビルディング 大日本印刷刷 その他未払費用	博物館保守管理未払い分 アーカイブ業務委託料未払い分	3,732,573 3,042,414 11,037,134
	前受金	東京地下鉄髙 その他前受金	本社2階、4階賃料・共益費	977,970 140,000
	預り金	住民税3月分 その他預り金		1,122,600 1,192,835
	賞与引当金	職員に対するもの		22,901,025
	未払法人税等			483,290
	未払消費税等			705,500
流動負債合計				70,883,669
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの		114,367,409
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの		20,827,100
	長期預り金	東京地下鉄髙 その他	預り敷金 預り敷金	4,400,000 280,000
固定負債合計				139,874,509
負債合計				210,758,178
正味財産				12,205,560,310